平成25年度 石狩市教育委員会会議（5月定例会）会議録

平成25年5月22日（水）
第2委員会室

開会 午後 1時30分

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
委員長 中村照男	○		
委員 土井久美子	○		
委員 門馬富士子	○		
委員 松尾拓也	○		
教育長 鎌田英暢	○		

○会議出席者

役職名	氏名
生涯学習部長	百井宏己
生涯学習部次長	柴口史子
総務企画課長	上田均
学校教育課長	蛭谷学俊
社会教育課長	東信也
文化財課長	工藤義衛
厚田生涯学習課長	池垣旬
浜益生涯学習課長	尾崎巧
教育支援センター長	西田正人
特別支援教育担当課長	森朋代
学校給食センター長	成田和幸
市民図書館副館長	丹羽秀人
市民図書館副館長	板谷英郁
生涯学習部参事	千葉則理
総務企画課総務企画担当主任主査	吉田雅人
総務企画課総務企画担当主査	高石康弘

議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 議案審議

議案第1号 石狩市学校給食センター運営委員の委嘱について

議案第2号 平成25年度奨学生の決定について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

① 平成25年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について

日程第5 その他

① 平成24年度石狩市在住の青少年における不良行為・犯罪行為等について

日程第6 次回定例会の開催日程

開会宣告

(中村委員長) ただいまから、平成25年度教育委員会会議5月定例会を開会します。

日程第1 会議録署名委員の指名

(中村委員長) 日程第1 会議録署名委員の指名ですが、門馬委員にお願いします。

日程第2 議案審議

(中村委員長) 日程第2 議案審議を議題とします。

議案第1号及び議案第2号の審議を秘密会とする件について

(中村委員長) 議案第1号 石狩市学校給食センター運営委員の委嘱に関する件については、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第2号に該当します。また、議案第2号については、平成25年度奨学生の決定に関する件であり、個人情報に関わりますので、第15条第1項ただし書き後段を適用したいと思います。以上2議案について、秘密会として後ほど審議したいと思います。ご異議ありませんか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、秘密会とすることに決定しました。

日程第3 教育長報告

(中村委員長) 日程第3 教育長報告を議題とします。

(中村委員長) 教育長から報告をお願いします。

(鎌田教育長)

- 4月26日 平成25年度市内PTA連合会定期総会(84名参加)
- 4月27日 素人そば打ち段位認定会第10回いしかり大会(36名参加)
- 5月7日 管内市町村教育委員会教育長会議
 - ・体罰調査報告に係る再調査について
 - ・全道教職員体育大会への道教委の関わりについて
- 5月8日 石狩シニアプラザはまなす学園入学式(受講生80名)
- 5月9日 市内小中学校訪問1日目(浜益中・浜益小・厚田中・厚田小)
- 5月10日 市内小中学校訪問2日目(樽川中・花川中)
緊急校長会議(市内該当校8校)
 - ・体罰調査報告に係る再調査について
- 5月11日 平成25年度石狩管内PTA連合会定期総会
新会長 西当別中の森会長
- 5月13日 市内小中学校訪問3日目(聚富小中・石狩中)
- 5月15日 道教育庁総務政策局教職員課櫻井主幹来石
 - ・広域人事について

5月16日 全道都市教育長会平成25年度春季総会（17日まで）稚内市
新会長 札幌市 町田教育長

5月18日 市内教職員体育実技研修会 緑苑台小

5月20日 平成25年度石狩市奨学審議委員会（103名について審査）
市内小中学校訪問4日目（花川北中・花川南中）

5月21日 市内小中学校訪問5日目（緑苑台小・花川小）
定例教頭会議

5月22日 市内小中学校訪問6日目（紅南小・花川南小）

以上で、報告を終わります。

（中村委員長）ただいま、教育長から報告がありましたが、この件について、ご質問等ありませんか。

質疑応答

（門馬委員）管内の教育長会議と緊急校長会議での体罰再調査の話は、具体的にはどういった内容だったのですか。

（鎌田教育長）今回の調査で、アンケートなどにより出てきたものについて、道教委に報告しましたが、その報告書の内容について、道教委において疑義が生じた部分について、再調査をするよう、例えば、当該児童にもう一度聴きなさいですとか、先生にもう一度聴きなさいですとか、また、該当の先生が分からないというケースについて、全教員に聴きなさいというような、指示が新たにありまして、それについての依頼ということです。

（土井委員）その再調査依頼は、期限はいつまでなのですか。

（蛭谷課長）期限は先週の16日ですが、案件によっては若干時間を要するものもありますので、現在確認中ですが、近々、その結果については教育局に報告する予定です。

（中村委員長）他に質問等がないようですので、教育長報告を了解ということでよろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、教育長報告を了解しました。

（中村委員長）以上で、日程第3 教育長報告を終了します。

日程第4 報告事項

(中村委員長) 日程第4 報告事項を議題とします。

① 平成25年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について

(中村委員長) ①平成25年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について、事務局から説明をお願いします。

(蛭谷課長) 私から報告事項の①平成25年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について、説明します。本日配付の資料の1頁をご覧ください。この資料は、平成25年5月1日における学校基本調査の数値をまとめたもので、各小中学校の普通学級と特別支援学級それぞれの児童生徒数及び学級数を記載しています。小学校の表の「小学校計」欄をご覧ください。市内小学校13校の児童数合計は、右から3列目をご覧ください。児童数合計は、3,472名で、昨年と比べて30名減少しています。学級数については、普通学級が135学級で、前年と同数です。特別支援学級は、32学級で、前年度から5学級の増です。次に、中学校の計の欄をご覧ください。8校の生徒数合計は、「中学校計」欄の右から3列目をご覧ください。生徒数合計は、1,698名で、前年度と比べて7名増加しています。普通学級が56学級で、前年度より2学級減少しています。特別支援学級は、14学級で、前年度より1学級の減となっています。また、資料の中で、例えば、厚田小学校の5年と6年の欄に学年間を横線で結んでいる所があり、他に数箇所ありますが、これは、その学年間で複式学級を編制していることを表しています。また、欄外の注釈ですが、普通学級の低学年における少人数学級について、小学校1年生では、既に35人学級が実施されていますが、北海道教育委員会が実施する少人数学級の実践研究事業により南線小学校2年生、花川南小学校2年生、紅南小学校2年生、また、花川中学校の1年生では、35人学級となっています。以上です。

(中村委員長) ただいま、事務局より説明がありました。この件について、ご質問等ありませんか。

なし

(中村委員長) ご質問がないようですので、報告事項の①については、了解ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、報告事項の①を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第4 報告事項を終了します。

日程第5 その他

(中村委員長) 次に、日程第5 その他を議題といたします。

① 平成24年度石狩市在住の青少年における不良行為・犯罪行為等について

(中村委員長) ①平成24年度石狩市在住の青少年における不良行為・犯罪行為等について、事務局から説明をお願いします。

(西田センター長) 私から、平成24年度石狩市在住の青少年における不良行為・犯罪行為等について、ご報告いたします。資料は、別紙で配付しました参考資料をご覧くださいと思います。この報告の数字は、札幌市アシストセンターと北警察署の協力のもと、巡回指導された時に、石狩市在住の青少年が指導・補導・検挙された数値です。昨年度までは、報告事項として説明していましたが、不良行為・犯罪行為ともに、札幌市アシストセンターと北警察署からいただいた数値ですので、こちらが主体的にまとめているものではないこと、しかしながら各教育委員には、実態をご承知いただきたいことから、参考として報告します。先ず、飲酒喫煙等の不良行為は、平成24年度は、242人です。学識別内訳は、資料のとおりです。平成23年度と比べて、小学生は減少しているものの、中学生では8人増加しており、高校生は41名と大幅に減少しています。行為の内訳も記載していますが、特に小中学生の不健全娯楽では、小学校は減少しているものの、指導・補導件数は依然多数を占めております。平成23年度に件数として実績があった暴走行為、怠学、不健全性行為、不良交友に関しては、平成24年度はありませんでした。不健全娯楽の104人の内訳は、小学生が18人、中学生が86人となっています。次に件数の多い深夜徘徊は、74人中、小学生が0人、中学生が22%を占める16人、高校生等が58人となります。不健全娯楽も含め、指導・補導された場合は、その都度現場において警察官・指導員からの注意を受

けており、再犯または、再犯しそうな青少年については、警察官・指導員が注意深く見守っていただいております。続きまして、犯罪行為についてですが、自動車盗が高校生2人、中学生1人の計3人、万引きが中学生2人となっています。このような情報は、小中学校で生徒指導を担当されている先生方の集まりである生徒指導研究委員会で情報共有しながら、非行不良行為等の防止に努めていきたいと思っております。以上です。

(中村委員長) この件について、ご質問等ありませんか。

(門馬委員) ここに出てくる数字は、例えば札幌市アシストセンターや北警察署員が巡回した先で、それらの行為を見つけた時にチェックをした数ということですよ。とすると、これが全てではない、巡回していない時に起こっていたことは、ここには出てこないということですね。

(西田センター長) おっしゃるとおりで、全てを警察官や指導員が把握しているというものではありません。あくまでも巡回している時に補導・検挙された人数ということですね。

(松尾委員) そうすると、延べ人数といいますか、ある子が補導されて、また別の日にそのような行為をしたということも、含まれている可能性がある数値、要するに同じ人が何回も入っているという理解でよろしいですか。

(西田センター長) いただいているデータは、人数だけで、該当生徒の更生や周囲への影響、個人情報等の問題から件数のみで、氏名は報告いただけていません。したがって、ダブリといいますか、同じ人間が何度補導されても、件数としてはダブリて挙がってくる場合もありますし、そうでない場合もあると理解しています。

(松尾委員) ここに挙がっているような行為をしている子どもたちに、生徒指導が適切に図られるためには、実態をある程度把握しておく必要があると思っておりますが、それとデータがどうリンクしているのかが気になったものですから、お聞きしました。アシストセンターと警察が持っているこういうデータと学校の方とは、個々の児童生徒については、直接はリンクしていないのだと理解しました。

(土井委員) 3点ほどお聞きします。1点目は、不健全娯楽とは、どんな内容なのかです。2点目は、アシストセンター・北署から数値を挙げてもらっているわけですが、アシストセンターや北署での対応は、例えば、家庭や学校に対して連絡しているのか、多分家庭には連絡していて、その中で石狩市内の生徒だと分かるのだらうと思っておりますが、どんな対応かお聞かせ願います。3点目は、ダブリしている場合、何度も繰り返している場合、それから、喫煙と深夜徘徊が一緒だったなどということがあると思っておりますが、問題は、何度も繰り返す場合で、それを注

意深く見守っていますという話がありましたが、そういうケースは、どれくらいあるのか分かりますか。

(西田センター長) 1点目の不健全娯楽については、施設はゲームセンター、カラオケボックス、まんが喫茶、インターネット・カフェなどで、それぞれ、小中学生の出入りが全く駄目な施設というわけではないのですが、決まった時間や決まったスペースを利用していないなどや、保護者の同伴がないこと、保護者がいても定時の時間外で使用了場合、平日の学校で授業を行っている時間に利用している場合に指導されているものと理解しています。2点目の対応については、私の理解している部分では、アシストセンターにしろ、北警察署にしろ、決まった時間に決まった場所を巡回している部分と色々な情報を基に出向く部分があると聞いております。その際に検挙や補導する場合、こちらには報告はありませんが、当然、氏名や学校、保護者の連絡先などについても聴いています。ケースに応じて違うと思いますが、家庭に連絡して保護者に来てもらうなりの対応がありますし、家庭に連絡がつかなければ、学校にも連絡が行くということで、そういった場合には、学校で情報をキャッチすることができるかと存じます。3点目の繰り返す子どもがいた場合の把握している人数ですが、申し訳ありませんが、人数までは当方で把握しておりません。それなりに繰り返す少年、特に中学生辺りになりますと当然、今後犯罪などの種類にもよりますが、後々の少年の将来にわたっての問題でもあり、北警察署とは協定書を結んでいますので、そういった意味では警察で判断されたお子さんに関しては、教育委員会や学校と連絡を取りながら対応するという事になるかと思えます。特に、集団で行う行為に関しては、これは石狩市のみの中学生ではなく、札幌市の中学生も絡んでいることもあります。そういう部分についての情報交換をさせていただきながら、保護者も含めてですが、こちらでできる範囲と札幌市との連絡のやりとりも行いながら、学校に対しても一緒になって未然防止に向けて取り組んでいくこととなります。

(松尾委員) 高校生がとても減っていますが、実態として、落ち着いているのか、それとも何か見えづらくなっているのか、その辺りの認識があれば、教えていただきたいと思えます。

(西田センター長) 23年度に比べますと、24年度の高校生の件数が大幅に減りましたが、種類別に見ると、一番減っているのは喫煙で、23年度に比べ大幅に減っています。道内の高校3年生の喫煙率という記事が、昨日の北海道新聞にも載っていましたが、道の独自調査で、直近の1カ月で喫煙した高校3年生のパーセンテージが、2.9%で、これは17年前の道の調査では、48.7%だったものが、2.9%に激減したということで、これについて、北海道では、「煙草を吸うのは格好悪い」という社会的イメージが定着しつつあるのではないかというコメントを載せていますが、社会風潮上そのような傾向にあるのかなと想像で

きますが、いずれにしても数値としては、喫煙の数が大幅に減ったという理解をしています。

(中村委員長) 他にご質問がないようですので、その他の①を了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、その他の①を了解しました。

(中村委員長) その他の②として、お手元に資料がありますが、「コミュニティ・スクールについての一考察」について、松尾委員から説明をお願いします。

② コミュニティ・スクールへの考察について

(松尾委員) 前回の4月定例会で中村委員長よりコミュニティ・スクールについてお話がありましたが、私の方でも色々考察を加えてみましたので報告します。掻い摘んでお話ししますが、制度の概要や導入状況については、委員長からご提示がありましたので、その点については触れておりません。社会的背景または都市における導入可能性について検討を加えてみました。2番の所では、我が国全般について、学校と地域社会の関係性について自分なりに述べています。3番の所では、コミュニティ・スクールというよりコミュニティを含めて本市の状況はどうかののだろうかということで、端的に申しますと合併等もあり、市の中で地域社会と言っても非常に様々な地域を抱えている市であるという認識に触れております。やはり、厚田・浜益等の地域と花川を始めとする住宅街型の地域では、それぞれの地域社会の状況がかなり違うと思っていますし、住宅街の形成時期が異なりますので、住民の年齢層等がかなり異なる部分があるのかなと思っています。そういったことから、コミュニティ・スクールは、地域との関係を深めるという制度でもありますので、地域自体の状況が異なれば、学校と地域との関係性もそれぞれの形があるのかなと考えております。なお、そもそも学校というのは、地域社会にとっても非常に重要な結節点でもありますので、コミュニティ・スクールの制度を導入するかどうかということ以外にも、地域というものを捉えなおすという観点も必要ではないかと、端的に言うと、市教委のみならず、市長部局も交えて検討されるのがよろしいのではないかと自分なりの考えを述べています。4番の取り組むべき課題ということで、2・3点考えたことについて、大まかですが述べておまして、学校と地域との関係性をどうすればもっと深めてい

けるかについて、検討を加えること、また、その結果、どうしても校務負担が増えるのではないかと思いますので、それをどう軽減しながら地域との関係性を深めていけるかの検討も必要かなと考えました。また、今後の自治の在り方について、学校がどういった役割を担っているかということも検討が必要でないかと考え、例示させていただきました。以上です。

（中村委員長）4月の定例会で、コミュニティ・スクールのお話をさせていただきましたところ、早速、松尾委員から「コミュニティ・スクールについての一考察」を提出していただきましたが、これについてご質問等ありませんか。

（土井委員）とても良い資料を出していただきまして、素晴らしいと思っています。今、見たばかりですので、色々と線を引きつつ、聴きたいことなどありますが、もう一度きちんと読んで、ここではなくて、また何らかの機会で、このことについては、長く色々な研究を重ねながら、問題点や現状認識など勘案しながらやっていきたいと思っておりますので、よろしいでしょうか。

（門馬委員）私も今、実に良い資料を作っていただいたと思いながら読ませていただきました。これは、一考察としてゆっくり読ませていただきますが、4月にいただいた資料を読んでいまして、コミュニティ・スクールの目指す、「地域全体で学校を共に経営していこう」という理念は素晴らしいのですが、その場合に、コミュニティにそれだけの力があるのかという疑問が浮かび上がってきました。力がないのにコミュニティ・スクールという形だけを作っていたとしても、「形作って魂入れず」といったことになっても残念なことだと思うのです。私が今住んでいる所は、花川北地区で、この地区は今から30・40年ぐらい前にちょうど子育て中の世代、私の世代があそこに家を建て、子どもたちが学校に通っていたわけです。その頃は、紅葉山小学校もありました。それから30数年経って、子どもたちは皆成長して、外へ行ってしまった。残っているのは、私みたいな高齢世帯ばかりという状況なのです。そこに所々、ポツリと若い世代が子育て中で、双葉小や紅南小に子どもを通わせているという状況です。花川南はどうかと言いますと、先日、南7条で畑おこし作業をしていましたら、その周りで小学生の子どもたちが賑やかに遊んでいるのです。花川南と北では、随分環境が違うものだなと思いました。そうなりますと、花川北地区でコミュニティ・スクールを作ろうという場合の前提条件と、同じ花川でも花川南とでは、地域の状況がかなり違うのかなと思います。そうすると、もし石狩で、このコミュニティ・スクールをやろうといった時には、そういった地域の状況を、かなりよく考えないとうまくいかないのではということ断片的に考えました。今、この考察をいただきましたので松尾委員の問題提起も考えながら、またゆっくり考えて行こうかなと思います。

(中村委員長) 委員提案については、事務局の方で別紙整理表を出ていますが、この一考察に関して、今後の取扱いを含め考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

(百井部長) このテーマについて、前回委員長から提案をいただいて、一方、事務局としても、議会などから要請がありまして、既にこの件に関しては検討すると、その両方相まって、具体的な検討を進めるということで準備をしています。その検討に当たって、私どもが検討したものを皆様に審議していただく材料を提供してから、皆様に色々ご意見いただくということも必要ですし、私どもが検討する際にご意見をいただいて、その点も盛り込んで、私どもが検討するということがあって良いかと思えます。拝見しますと、重要な視点が入っていると承知しておりますので、検討する中で、このテーマもしっかり勉強していきたいと思えます。具体的には、先ずは、先進事例を集めるとともに、今、国が色々な施策や制度を新しく次々と出てくるようなことも予感されますので、やはり夏ぐらいまでに色々な状況を集めて、皆様にご審議いただけるための準備を進め、勿論、制度ありきではなくて、広範に準備していきたいと考えています。

(中村委員長) 事務局から考え方を、お示しいただきましたので、その他の②については、了解ということでよろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、その他の②を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第5 その他を終了します。

日程第6 次回定例会の開催日程について

(中村委員長) 日程第6 次回定例会の開催日程を議題とします。

(中村委員長) 次回定例会については、6月26日の水曜日、13時30分からの開催を予定しております。よろしくお願ひ申し上げます。

(中村委員長) 以上をもちまして、公開案件は終了します。秘密会案件の説明員以外の方は、ご退席願ひます。

【秘密会】

(中村委員長) ただいまから、教育委員会会議規則第15条に基づき、秘密会を開催いたします。

(中村委員長) 日程第2 議案審議を議題とします。

議案第1号 石狩市学校給食センター運営委員の委嘱について (秘密会)

(中村委員長) 議案第1号 石狩市学校給食センター運営委員の委嘱について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第1号 石狩市学校給食センター運営委員の委嘱について、この度、年度替りということで、所属団体の役員体制が一部変わりましたので、後任者として、新たに1名の委員を委嘱したいので、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第8号の規定に基づき議決を求めるものです。よろしくご審議をお願いします。詳細については、担当から説明します。

(成田センター長) 議案第1号により説明。

(中村委員長) ただいま、提案説明がありました議案第1号について、ご質問等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 質疑等がないようですので、議案第1号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第1号については、原案どおり可決しました。

議案第 2 号 平成 2 5 年度奨学生の決定について（秘密会）

（中村委員長）議案第 2 号 平成 2 5 年度奨学生の決定について、提案願います。

（鎌田教育長）議案第 2 号 平成 2 5 年度奨学生の決定について、先の 5 月 2 0 日に石狩市奨学審議委員会が開催され、審議をお願いしていました今年度の奨学生について、選考が終了しましたので、別紙のとおり決定したいことから、石狩市教育委員会事務委任規則第 1 条第 1 2 号の規定に基づき議決を求めるものがあります。よろしくご審議をお願いします。詳細については、担当から説明します。

（蛭谷課長）議案第 2 号により説明。

（中村委員長）ただいま、提案説明がありました議案第 2 号について、ご質問等ありませんか。

質疑等省略

（中村委員長）他に質疑等がないようですので、議案第 2 号については、原案どおり可決ということによろしいですか。

異議なし

（中村委員長）ご異議なしと認め、議案第 2 号については、原案どおり可決しました。

（中村委員長）以上で、日程第 2 議案審議を終了します。

閉会宣告

（中村委員長）以上をもちまして、5 月定例会の案件は、全て終了いたしました。平成 2 5 年度教育委員会会議 5 月定例会を閉会いたします。

閉 会 午 後 2 時 3 9 分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成25年 6月26日

委員長 中村照男

署名委員 門馬富士子